

## 平成29年度評価型競争入札（インセンティブ入札）について

本市では、工事の適正な施工の確保を図るとともに、事業者の技術力の向上や社会的貢献への意欲を高めるため、工事成績評価や災害時における市への貢献度などを条件とした「評価型競争入札」（インセンティブ入札）を試行的に実施していますが、平成29年度は次のとおり試行実施します。

### 1 評価型競争入札の概要について

「Ⅰ型」 工事成績評価型	工事成績が優秀な事業者を評価するもの。 ○平成26, 27, 28年度の工事成績を評価
「Ⅱ型」 社会・地域貢献型	社会的貢献への意欲を高めるため、市との災害協定など社会・地域に貢献している事業者を評価するもの。
「Ⅲ型」 主観点数型	入札参加登録時に本市独自の評価項目について配点した主観点数が一定点数以上の事業者を対象とするもの。主観点数は工事成績や社会・地域貢献を評価し配点したもの。
「Ⅳ型」 技術者雇用・育成型	将来に渡る公共工事の品質確保と担い手の中長期的な育成・確保を促進するため、若手技術者や女性技術の雇用状況、配置予定技術者の経験等を評価するもの。

### 2 対象工事

年間発注予定件数、入札参加事業者数等を踏まえ、平成28年度は土木一式工事、ほ装工事、建築一式工事、電気工事、管工事について試行実施します。

### 3 評価型競争入札の実施内容について

#### (1) 「Ⅰ型」工事成績評価型

平成26, 27, 28年度に工事成績評価「A」又は「B」を1回以上受けている事業者を対象とします。ただし、工事成績評価「D」、「E」、「F」のいずれかを1回以上受けた場合、又は平成26年4月1日以降に指名停止期間がある場合は参加対象から除きます。

#### (2) 「Ⅱ型」社会・地域貢献型

<評価内容>

次の1～7の要件を満たしている項目の評価点の合計が、下記の点数以上の事業者を対象とします。

なお、1から3については、原則、基準日（平成29年4月1日）に要件を満たしている上、公告又は指名した日まで引き続き要件を満たしているときに加点します。

土木一式工事、ほ装工事：20点以上

建築一式工事、電気工事、管工事：15点以上

項番	評価項目	評価点
1	次の①～③の協定等を締結している事業者。ただし、複数締結していても10点とする。 (1) 災害に対する復旧等の協定 (2) 緊急補修工事等に関する覚書 (3) 凍雪害対策に係る協定書(平成28年度に協定を締結した事業者)	10点
2	建設業労働災害防止協会に加入している事業者	5点
3	建設機械の保有状況※1 (1) 建設機械を自社で保有している場合 1台につき5点 (2) 建設機械を長期リース(3年以上)している場合 1台につき3点 ※注1: 配点の対象台数は(1)及び(2)を合計して2台までとする。 ※注2: 長期リースは、原則、基準日(平成29年4月1日)及び公告日(又は指名日)が長期リースの契約期間中である上、契約の始期から終期までが3年以上のリース(賃貸借)契約とする。	10点を限度とする
4	平成27年度又は平成28年度に凍雪害対策として1回以上の活動をした事業者。ただし、2回以上活動しても5点とする。	5点
5	平成28年度に本市内でボランティア活動の実績がある事業者※3 ・3点×実績件数。ただし、6点を限度とする。	6点を限度とする
6	消防団協力事業所の認定	5点
7	指名停止(平成28年度から公告日又は指名日までに指名停止を受けたことがある。複数回ある場合は、1回ごとに-10点)※2	-10点×回数

※1 対象とする建設機械は、下記のアからカまでのショベル系掘削機、ブルドーザー、トラクターショベル、移動式クレーン、大型ダンプ車、モーターグレーダーとする。(対象の建設機械は経営事項審査(平成27年4月1日から適用される基準)の評価対象と同一とする)

ア ショベル系掘削機: ショベル、バックホウ、ドラグライン、コラムシエル、クレーン又はパイルドライバーのアタッチメントを有するもの

イ ブルドーザー: 自重が3トン以上のもの

ウ トラクターショベル: バケット容量が0.4立方メートル以上のもの

エ 移動式クレーン: つり上げ荷重が3トン以上の移動式クレーン

オ 大型ダンプ車: 車両総重量8トン以上又は最大積載量5トン以上で事業の種類として建設業を届け出、表示番号の指定を受けているもの。

カ モーターグレーダー: 自重が5トン以上のもの

◇なお、次の点に留意すること。

○長期レンタル契約でもレンタル契約は全て対象外とする。

○建設業者間での売買契約、リース契約は対象外とする。ただし、一般社団法人日本建設機械工業会の統一様式による譲渡証明書により証明できる場合は対象とする。

<提出書類>

提出する書類等は次の①及び②とする。

①建設機械を自社保有していること又は長期リースをしていることが確認できるものとする。(売買契約書の写しやリース契約書の写し等)

②平成29年4月1日以降に撮影した当該建設機械の写真(日付が確認できないものは不可とする。)

※2 指名停止日が平成28年3月31日以前の場合でも、指名停止期間が平成28年4月1日を含む場合は、指名停止の対象とする。

※3 ボランティア活動とは、相模原市内において、企業として行った活動であり、企業の後援、協賛、寄付行為、社員個人の活動及び自治会での自治会員としての活動は対象とせず。(活動例)

- ・河川、道路及び公園等の清掃活動
- ・自然環境保護活動等の参加
- ・交通安全運動への協力

### (3) 「Ⅲ型」主観点数型

主観点数が18点以上の事業者。ただし、指名停止期間が平成28年4月1日以降にある事業者は除きます。

\*主観点数とは

工事の適正な履行の確保を図るとともに、事業者の技術力等の向上や社会的貢献への意欲を高めるため、工事成績や市への貢献度など、相模原市独自の項目について評価した点数です。入札参加登録時に配点した点数です。

なお、経審（建設業法における経営事項審査）の総合評定値（P点）に、主観点数を加算したものが「総合点数」です。

主観点数の詳細は、本市ホームページを参照してください。

（市HP→産業・ビジネス→入札・契約・建築確認情報→入札・契約に関わる重要なお知らせ→平成29・30年度競争入札参加資格に関わる工事の主観点数について）

### (4) 「Ⅳ型」技術者雇用・育成型

<評価内容>

次の1～7の要件を満たしている項目の評価点の合計が20点以上の事業者を対象とします。

○基準日は、公告日とする。

○項番1～3の技術者とは、工事の監理技術者又は主任技術者になり得る国家資格等を取得している者（経歴は不可）をいう。

○項番1②の若手とは、上記の技術者にあてはまらない者とする。

※落札業者が、契約時に下記で評価された配置予定技術者を真に止むを得ない理由で配置できない場合は、同等以上の者を配置すること。なお、同等以上の者を配置できなかった場合は、本年度の以後の評価型競争入札（落札決定前までの案件を含む）に参加できないものとする。

項番	評価項目	評価点
1	若手技術者又は若手を新規雇用している事業者。※1 ①35歳未満の若手技術者を新規雇用している 1人につき20点 ②30歳未満の若手を新規雇用している 1人につき10点	20点を限度とする
2	40歳未満の若手技術者を雇用している事業者。※2 ①35歳未満を雇用している事業者 1人につき10点 ②35歳以上40歳未満を雇用している事業者 1人につき5点	20点を限度とする
3	女性技術者を1人以上雇用している事業者。※2	20点
4	上記1～3で評価した技術者を発注工事の配置予定技術者とする場合	10点
5	配置予定技術者の工事成績（過去3ヵ年度（発注年度含まず）に検査の完了した同一種目工事（単価契約は除く）の工事成績評価点の最高点）※3 ①75点以上 10点	10点を限度とする。

	② 75点未満（実績なし含む）	0点	
6	配置予定技術者の施工経験（過去10年度における国又は地方公共団体の同種工事の施工実績の件数で配点する）※4		15点を限度とする
	① 施工実績2件以上	15点	
	② 施工実績1件	10点	
	③ 施工実績無し	0点	
7	指名停止（平成26年度から公告日又は指名日までに指名停止を受けたことがある。複数回ある場合は、1回ごとに-10点）※5		-10点×回数

※1 新規雇用とは、平成26年4月1日以降に雇用した場合で、基準日までに継続的に3か月以上の雇用をしているときに配点する。

なお、35歳未満とは、35歳の誕生日が基準日（公告日）の2日後以降の者を対象とする。40歳未満も同様に算定する。

※2 項番2及び3の技術者は、基準日までに継続的に3ヶ月以上の雇用しているときに配点の対象とする。なお、項番1で配点の対象になった者は、項番2では配点の対象にはしないものとする。

※3 工事成績評価点とは、相模原市企画財政局財務部契約課発注の工事（工事担当課へ検査を依頼している工事を除く。）について、工事評価基準（平成14年4月1日施行）の規定により評価された評価点をいう。なお、配点対象の工事は1件とする。

過去3ヵ年度とは、平成26年度から平成28年度までに完了した工事とする。

※4 同種工事の施工経験とは、元請として、設計金額の5割以上の同種工事に従事した経験（公告日から過去10年以内）とする。なお、単価契約は施工実績の対象から除くものとする。

・ 施工場所は問わない。

・ 共同企業体での発注は、契約金額に出資比率を乗じた金額を工事实績とする。

※5 指名停止日が平成26年3月31日以前の場合でも、指名停止期間が平成26年4月1日を含む場合は、指名停止の対象とする。

<提出種類>

① 提出する書類は、公告において示されたものを提出するものとする。

② 雇用、新規雇用及び性別を確認できる書類として、健康保険被保険者証の写し又は雇用保険被保険者資格取得確認通知書の写し等を提出するものとする。

#### 4 入札方法

本年度の評価型競争入札は、原則、条件付一般競争入札で実施します。

なお、入札参加事業者数等を踏まえ、地域要件、対象ランク、工事实績などの条件を設定し発注する場合があります。

#### 5 対象予定工事

発注対象の案件は、原則、予定価格1億円未満の工事とします。

## 6 優遇措置

評価型競争入札による契約は、手持工事（手持工事件数及び手持工事契約金額）として加算しません。

ただし、平成29年度に公告（指名）した評価型競争入札工事については、全業種を合計して2件まで受注できるものとします。なお、2件目の評価型競争入札の工事の落札者となった時点で、以後の評価型競争入札には参加できないものとします。

※平成28年度以前に評価型競争入札として公告（指名）し、工期が平成29年度以降になる工事は、平成29年度の評価型競争入札の受注件数にはカウントしません。